

一歩前進

～落ち着いた雰囲気の中に活気のある学校をめざして～
3つの『あ』…「あいさつ・あきらめない・ありがとう」…をベースに

新しい年のスタート!!

新しい年がスタートしました。早いもので令和も7年、西暦では2025年となりました。

お正月は、皆様いかがお過ごしでしたでしょうか？

正月三が日は穏やかな天候となり、特に元日は雲一つない晴天でしたので、美しい初日の出を拝まれた方もいらっしゃるのではないかと思います。大きな自然災害等が起きず、お正月の天気同様に、穏やかな1年になってほしいなと願うばかりです。

さて、13日間の冬休みを終え、先週の火曜日(1月7日)から学校が再開し、学校には、またいつもの賑やかさが戻ってきました。朝からは、何人もの子どもたちから「あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いします」という元気なあいさつをもらったほか、6日(月)は、学童保育に来ていた子どもたちからも同様のあいさつをもらうなど、「あ～、やっぱり『あいさつ』っていいよな。大事だよな。気が利いている子どもがたくさんいるなあ～。気持ちがいいなあ～。」と、改めて思ったところでした。

朝から実施したオンラインでの全校集会では、スライドを提示しながら、いつもの如く「まずは『あいさつ』、次に何事も『あきらめない』、そして『ありがとう』という感謝の気持ちをもつこと、と話をし、さらにプラスして、『笑顔』と『姿勢』を心がけよう」と呼びかけました。



学校に来る日も、今年度は残り44日間(1～4年生は43日間)となりました。マラソンに例えると、33km地点(残り10kmを切った付近)をゴールに向かって走っているところかと思います。これからが勝負どころです。一段と寒くなるなど、つら



い日もあるかと思いますが、3月末のゴールをめざして、そして、4月からの次のステージを見据えて、さらに粘り強く、あきらめずに取り組んでいきます。保護者の皆様のご協力を引き続きよろしくお願いします。

寒さに負けず～深く広く根を張ろう～

冬本番。20日(月)が「大寒(だいかん)」ということで、ここ数日は寒い日が続いています。ただ、子どもたちは、寒さにも負けず、元気いっぱいです。「子どもは風の子」と言いますが、その通り、登校後に外遊びをした子どもの中には、半袖姿で学校生活を過ごしている子もいます。

「何も咲かない寒い日は、下へ下へと根を伸ばせ」という言葉がありますが、これから



3月までの寒い時期に、子どもたちにはしっかりと根を張らせていきたいなと思います。『冬来たりなば春遠からじ』です。

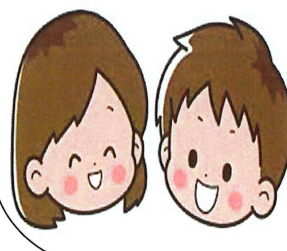
校長室から

～笑う門には福来る～

『笑う門には福来る』…冬休み明け初日(1月7日)の全校集会で子どもたちに紹介した言葉です。

ご存知の通り「いつも明るく朗らかであれば、自然と幸せがやってくる」という意味で、「昔の人はよく言ったものだ。昔の人が言うことは間違いがないよな」と思います。確かに、くら～い顔をして過ごしていてもいいことはあまりないですね。

「運は自分から呼び込むものだ!」と言われるかもしれませんが、まさにその通り。つらいことやいやなことが多少あっても『笑顔』で過ごしていればきっといい風が吹いてきます。そして、笑顔で過ごす人の周りには、自然と人も集まってきます。また、笑顔で周りの人を幸せな気分させることもできます。「しかめっ面」で過ごしているよりも『笑顔』で過



ごしていた方が絶対によいのです。町小の子どもたちには、『笑顔』で過ごせる素敵な人に成長していったほしいと願っています。

※これからも、しばらくは寒い日が続きます。手袋をはめずに登校してきている子どもたち(約3割)には「手袋ははめておいで!!」と、声をかけています。

